

No. 1606

# 全国戦没者追悼式

—東京・九段—

終戦記念日の8月15日。「全国戦没者追悼式」が東京・九段の日本武道館で全国から約6,800人の遺族が参加して行われました。

天皇、皇后両陛下がおそろいで御出席されるのは昭和天皇、皇太后さまが昭和55年に出席されて以来9年ぶりのことです。海部首相の式辞のあと、正午を期して1分間の黙禱。先の大戦で亡くなった約310万人の戦没者の冥福を祈りました。そのあと天皇陛下が「我が国の発展と世界の平和を祈り、戦陣に散り、戦禍にたおれた人に対し心からの追悼の意を表します」とのべられました。

遺族代表の愛媛県の井関卓江さんの追悼の言葉のあとに献花が行われました。式典も今年で27回目を迎えます。ますます平和への誓いを新たにしたいものです。

# 災害に備えて

—東京—

8月24日から東京・池袋のデパートで「防災フェア東京'89」が開かれています。

これは9月1日の「防災の日」を前に災害に備えようという趣旨で催されたもの。会場には小学生が描いた防災をテーマにした絵、7月に起きた伊豆半島沖地震のビデオ、また地震、火山活動を監視する情報画像の中継など災害に対する官庁や民間機関の防備体制の様子が展示されています。

デパートの屋上では警視庁のレスキュー隊員による高層ビルからの救助訓練が行われました。東京・下町の高層マンションでの火災が現実には起きたとあってロープによる訓練も真剣そのものです。

「皆で守ろう、わが家、わがまち」のテーマのもと、いつ起きるかわからない災害に対し、日常から充分気をつけてゆきたいものです。